

「Re:維新ブランド」紹介コーナー



山口から再び維新を!

「Re:維新ブランド」とは、当所商業部会が、山口にゆかりのある特徴的な商品・サービスを通して、全国に元気を発信する山口発のブランドです。5月号からスタートしたこのコーナーでは、Re:維新ブランド参加登録事業者とその認定商品を紹介していきます。



日本果実工業株式会社

代表取締役社長 片桐 且元

住所: 山口市仁保下郷 1771

電話: 083-927-0111

ホームページ: <http://www.nikkako.co.jp>

日本果実工業株式会社、代表取締役社長の片桐氏を訪ね、Re:維新ブランドの登録商品や経営方針等についてお伺いしました。

太平洋戦争前に創業、戦中、戦後の困難な時期を乗り越えて、昭和35年12月全農山口県本部(旧山口県経済連)の各加工場において各種農産加工品及び清涼飲料水を総合的に製造、販売する目的で設立された会社です。山口県農業の加工部門を支援する組織としてスタートしました。現在は、県内農産物を中心とした加工事業と大手飲料の「OEM」生産の二本立てです。

Re:維新ブランド登録商品「萩の夏みかんマーマレード」の原点は、1949年に製造が開始された缶入りの「夏みかんマーマレード」です。缶入りなのは、当時、外貨獲得の輸出用に作られたためです。県民の皆さんおなじみの、食品では珍しい黒ラベルも変わりなく、現在も販売中です。

この商品の進化型として、夏みかんと砂糖のみの原材料で、夏みかんのもつペクチンだけで凝固させる方法で製造しております。最近では、萩の夏みかんの生産量も減りましたが、国産にこだわり製造しております。

Re:維新ブランドは、単に現在の製造・販売の革新のみではなく、山口県の農業の「Re:維新」に繋げて欲しいと考えております。

萩の夏みかんの生産の原点は、明治維新の成立後、「窮乏した武士階級の救済」として始まりました。

日本全体のみかんの生産量は、1975年頃は、350～360万トンありました。2013年の統計によると、80万トンを超える数字となっております。山口県の減産ペースは、全国平均を上回るペースで減少しております。

山口県農業の現状においても、「Re:維新」が必要な状況であることを分かっていたいただきたいと思います。



展示即売会で
大活躍の中野さん

Re:維新ブランドの今後については、例えば「食」関係の方々が、大手企業の参加によるバックアップを受けてコラボした商品作りができれば、楽しい2018年の明治維新150年を迎えられるような気がします。

当社といたしましても、新商品の開発や商品のリニューアル時期に当たり、「Re:維新」を念頭に商品力アップを図りたいと考えております。

商工会議所には、会員相互のコラボレーションのリード役になってもらいたいと思います。

生産量が大幅に減少する農産物の原材料の加工における成功のポイントは、国産品としての付加価値をいかに高められるかにかかっております。

当社の柱の一つである、大手飲料の「OEM」生産を活かして、県内農産物の減少状況下でも、安全・安心な県内産原材料の確保に努めつつ、生産者の立場に立った商品づくりを進めてまいりたいと考えております。

Re:維新ブランド登録商品の「萩夏みかんマーマレード」

